

3 今後の取り組みについて

1 運行エリアについて

足柄広域新モビリティサービス事業計画素案の計画に基づき、来年度、山北町への運行エリアの拡充を進めていく。



県西部都市圏バスマップから

2 運行体制の見直しについて

現在、定時的な移動ニーズの見込まれる朝晩（7:00~8:00、20:00~21:00）の時間帯において、経路を限定した定時的な運行を行っている。寄地区においては、アンケート調査において定時的な運行を望む声が多く、また、運行効率の向上を図るため、富士急モビリティの路線バスとの調整を図りつつ、現在、朝晩に実施している目安の時刻を設けた運行を拡大し、運行体制の転換を検討していきたい。

ルートは、これまでの実証実験で得られた寄地区の住民の利用ニーズを踏まえ、鉄道駅、買い物施設、クリニック等を想定しており、具体的な経由地は地域住民との意見交換会を実施し計画していきたい。

新報 朝と夜の時間帯に寄方面への定時運行を試行します！

朝 (▼開始日は「のるーと足柄」公式サイトにてお知らせします)

MP名	時刻
(往路)	
スルガ銀行ATM	7:10
suprapo	7:11
山崎土木	7:14
レストフルビレッジ	7:32
寄	7:34
(復路)	
寄	7:40
西庭入口	7:42
田代向	7:45
長寿橋	7:50
田代橋	7:55
萱沼入口	8:01
湯の沢団地前	8:07
スルガ銀行ATM	8:15

夜 (▼運行開始しています)

MP名	時刻
(往路)	
新松田駅南口	20:00
湯の沢団地前	20:10
萱沼入口	20:14
田代向	20:18
長寿橋	20:23
弥勒寺集会施設入口	20:30
寄	20:32
(復路)	
寄	20:35
スルガ銀行ATM	20:53

「寄方面に決まった時間に運行してほしい」というご意見にお応えして、「利用ニーズの高い朝と夜の時間帯に街内の乗降場所(MP)の出発時刻を左の時刻表のとおり設定し試験的に定時運行します。通常のご利用と同じくご予約が必要です。※時刻表の時刻を目安に予約をお願いします」

3 車両の見直しについて（ダウンサイジング）

平均的な乗車人数について検証をしたうえで、現在使用しているトヨタハイエース（10人乗り）から、ミニバンサイズ（7～8人乗り）のハイブリッド車などへの転換を検討していく。

4 令和8年度以降の運行について

松田町から受託している実証実験が令和7年度に終了となることから、令和7年度中に令和8年度以降の本格運行に向けた協議・検討を進めていきたい。

検討にあたっては、現在運行している町の皆さまや交通事業者の皆さまと今後のあり方について、対話を重ね、あるべき姿を検討したい。